平成26年度 事業別予算概要

車名	20400	秘書事務費			会計	1 一般会計	445	政策	根拠計画	.	
77	番枝	松田子仍具		予	款	2 総務費	合	分野	実施計画事業	長	
+8 4	= ⊕	人不等項如 私事理	内線	算	項	1 総務管理費	計画	基本施策		公	
1 <u>=</u> =	市木	企画管理部 秘書課	2406		目	4 秘書費		施策	H26実施計画額	千円 ***	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を	(対象)	全市民	どうしたいのか	・交渉、渉外に関する業務の遂行	概	事業の実施	・市長、副市長によるトップセールス
B	対象	食者数	92,097 人	(奈仞)	・各自治体などとの連携、情報収集	要	手法(手段)	・市長、副市長の円滑な日程調整

2 事業の推移・結果(Do)

		指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	H26	分析・評価で 明らかになった課題
	活動		件	目標値					4 今後の方向性
	指標			実績(見込) 達成率(%)	175	158	102		
	活		件	目標値					課題等に対する H25対応状況
	動指		1	実績(見込)	546	505	386		1127770 0170
	標	算出根拠等		達成率(%)					担 〇 維持・
				目標値 実績(見込)					次当拡大
_		算出根拠等		達成率(%)					度評解
成果	ļ l			目標値					の価原止検
面	i			実績(見込)					施二
		算出根拠等		達成率(%)					針 評 縮小
				目標値					価 廃止検
		算出根拠等		実績(見込) 達成率(%)					コスト面
	_	并山依拠守		目標値					コント回
				実績(見込)					
		算出根拠等		達成率(%)					コスト指標
	補								741,00
	足								受益者

3 分析·評価(Check)

市政運営の礎として「公開」「対話」「市民参画」を念頭に置き、自治体経営者のトップの考えや行政運営の方針を市役所組織内に的確に周知し、わかりやすい市民への広報について常に意識的に取り組む組織の土壌づくりと職員意識の向上、さらには現状に滞留することのないシステムの在り方の検討が必要である

性(Action)

			対する 5状況	
	担	0	維持·改善	
次	当課		拡大	市長公約の実現に向けて、「公開」「対話」「市民参画」を市政運営の柱として、引き続き積極的に取り組んでいく
年度	評		縮小	中女公利の夫別に同けて、「公開」「内式ショ」を中以連名の在として、Jews 候を明に取り組んでいく
の	価		廃止検討	
実施	_	0	維持·改善	
方	次		拡大	(担当課評価に同じ)
針	評価		縮小	(注当辞計画15月6)
	Щ		廃止検討	

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	9,112	10,278	12,610	15,583
7.2		受益者1件当たり(円)	(A/B)	98	111	137	169
	受益者	全市民(4月1日)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

実 市政運営の礎として、「公開」「対話」「市民参画」を念頭に置き、自治体経営者のトップの考えや行政運営の 方針を市役所組織内に的確に周知し、わかりやすい市民への広報について常に意識的に取り組む組織の土 なびりと職員意識の向上、さらには現状に滞留することのないシステムの在り方の検討が必要である の ・海外トップセールスの推進 ・秘書関係事務費 イ・市長車維持関連経費 業 内 秘書業務および交際・渉外に関する業務遂行

	事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	12,610	15,583	2,973	12,520	12,520		
Ę	国庫支出金			0			・積算内容を精査	
ž	県支出金			0				・財務部査定のとおり
F	その他			0			・市長車維持関連経費を計上	
Ī	一般財源	12,610	15,583	2,973	12,520	12,520		

平成26年度 事業別予算概要

車 类 /	20515 表彰関係事務費		4	会計	1 一般会計	611	政	策	7	構想の推進	根拠計画	±	
尹未1	②科技 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	3	5	款	2 総務費	総合	分	野	1	市民参画	実施計画事業	長	
担业目	企画管理部 秘書課	内線	Ŧ	項	1 総務監理費	計画	基本	施策	1	市民と行政が恊働してまちづくりに取り組む		公約	
15 3 6	正画目注印 伊吉林	2406		目	5 広報費		施		3	パートナーシップの構築	H26実施計画額	千円 ***	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を(対	象) 全市民	どうしたい	市政の進展に寄与された方々の功績を称えることによる市民協働の推進	概	事業の実施 手法(手段)	市表彰式の開催により、市政の進展に尽力いただいた市民を表彰し、市民協働のまちづくりを進める
的	対象者	数 92,097 人	+ のか (意図)	中政の進展に針子されに力べの列頼を並えることよる中氏協働の推進	要	手法(手段)	中衣彰式の所能により、中政の進展に体力いたたいに中氏を衣彰し、甲氏励闘のよう ノッを進める

2 事業の推移・結果(Da)

н	124	実績 · 市表	彰式(11月1日)を実施						
		,	指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	H26
	戎	被表彰者数			目標値				
	果指	放公学日数			実績(見込)	128	96	89	
	票	算出根拠等	市制記念日における被表彰者数		達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
龙		算出根拠等			達成率(%)				
龙 果 面					目標値				
田					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
			·		目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
٦ ٦	佃事								

3 分析·評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・各所管課における被表彰者の掘り起こしとともに、市政の進展に貢献された被表彰者を市民を挙げて称えていく土壌の醸成に努めていく必要がある
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

			対する 状況	- 市制記念日(11月1日)に併せて表彰式を実施する
	担	0	維持·改善	
次	当課		拡大	H26年度については通常の年の規模で実施する
年度	評		縮小	1120千尺に りいては 血市の 牛の 成保 て 天祀 する
の	価		廃止検討	
実施	_	0	維持·改善	
方	次		拡大	(担当課評価に同じ)
針	評価		縮小	(だ当辞計画15月6)
	тШ		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	7,753	1,230	3,300	3,978
12		受益者1件当たり(円)	(A/B)	83	13	36	43
	受益者	全市民(4月1日)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

要 求 の · 市表彰式関係経費 ポ・自治功労者等葬儀関係経費 イ・寄附者表彰関係経費 ・各所管課における被表彰者の掘り起しとともに、市政の進展に貢献された被表彰者を市民を挙げて称えて しく土壌の醸成に努めていく必要がある 業 内・市表彰式などでの市政の進展に貢献された方の表彰

	事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	3,300	3,978	678	3,300	3,300	- 積算内容を精査	・財務部査定のとおり
Я	国庫支出金			0				
浙	県支出金			0				
対割	その他			0				
	一般財源	3,300	3,978	678	3,300	3,300		